

保護者の
みなさん

一緒に考えてみませんか

パパ ママ 子育て応援します!

花巻の子どもたちは、家でも保育園や幼稚園でも地域の中でも元気に活動し、すくすく成長しています。

子どもたちのよりよい成長のためには、周りの大人たちが子どもの育ちを理解し、家庭と学校、保育園・幼稚園、そして地域が手を携えて子どもたちを見守り、支えていくことが重要です。

市内の保育園・幼稚園では、子育てに悩む保護者の方々のさまざまな相談に対応しています。今回の事例集では、心の発達や遊びに関する相談事例をもとに、どんなことを心がけて子どもと接したらよいか一緒に考えてみましょう。

就学前教育振興推進事業

事例集 NO. **3**

平成22年3月10日(水) 花巻市教育委員会

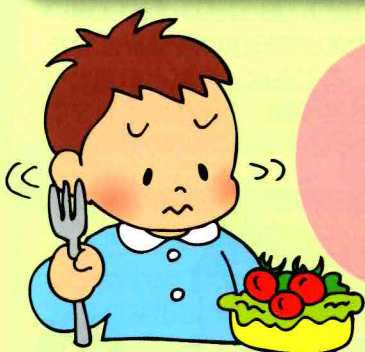


自己主張は、成長の証!

この年頃になると、生活や遊びの中で自分のことを自分でしようという意欲が高まってきます。また、言葉が話せるようになってきて自分の気持ちを表現するようになります。「自分でやる。」「いや。」と強く自己主張したり、自分の思い通りにいかず泣いたり、かんしゃくをおこしたりすることが多くなるのは、自我が芽生えてきた証拠。自己主張ができるということは、それだけ信頼関係ができてきたということです。

少し待って!

子どもは、「いやだ。いやだ。」と言っているうちに、その気持ちだけがエスカレートしていき、自分でどうしようもなくなってしまうことがあります。親まで興奮してしまわず、じっくり腰を据えて子どもが落ち着くのを待ってから、子どもの話を聞いてみましょう。



相談事例 ① わがママ!

2歳になるうちの子は、何かにつけて「いやだ。いやだ。」と反抗するようになり、私もイライラしてしまいます。ついこの前までは、何でも言うことを聞かれましたのに…



まず、受け止めて!

子どもが「いやだ。」と言ったとき、「いやじゃありません。」と頭ごなしに否定するのではなく、「そう、いやなの。」等、一旦、子どもの言うことを受け止めましょう。子どもは、自分のことが分かってもらえると思うと、安心して自分の考えていたことを振り返ることができます。泣き止まない時は、黙って抱いてあげたり、背中をそっと撫でてやったりするのも効果的です。子どもが落ち着いて話を聞くことができる状態になったら、かなえられない理由、がまんすること、人への迷惑や社会のルール等をゆっくり話して聞かせましょう。

何か思い当たることは?

外にでられない。思う存分遊べない。きちんと応えてもらえない等の心のイライラがわがままな態度にさせていることもあります。何か思い当たることはありませんか? ちょっと思い返してみましょう。